

ジャンクショッププロデュースブティック泉南代表
上野真幸のJ.P.流



VIP カードレスアップ創世記から、パーツやアクセサリーの王道であり、ある意味定番でもある老舗VIP パーツメーカー、ジャンクショッププロデュース。高級セダンにこだわり続け、そしてパーツを開発し続け、その歴史はなんと20年以上。そんなジャンクショッププロデュースのパーツを装着し、長年リスペクトし続けている、全国に多数存在する「JP人」。このページは、愛すべきJP人を我々がジャンクショッププロデュースブティック代表、上野真幸が訪ね歩き、魂をこめて紹介するページである。

今月のJP人

オートガレージKAZU
代表取締役
細井和弘
Kazuhiko Hosoi



【オートガレージKAZU】
〒349-0133 埼玉県蓮田市関戸2818
TEL.048・767・1200
http://www.otogaragekazu.com/
営業時間：午前9:00～午後8:00
定休日：日曜日

クルマの知識はハンパなし。
超マジメ!?な僕の「師匠」

オートガレージKAZU代表のカズ君は、ズバリ、超マジメ君。律儀で筋の通った真つ直ぐな男。上下関係もキッチリ。挨拶もバッチリ。見た目は怖いけど、実は僕よりかなり年下。でも、仕事は下が100個付くくらいマジメです。車販はもちろん、アフターもバッチリ。クルマというものは売ってしまったら終わりじゃない。アフターケアも大事にする人です。

もちろんクルマの知識もハンパない！実は、僕のクルマの知識については師匠が5人います。彼はその中の一人なんです。それぞれ師匠には得意分野がありますが、中でもカズ君はクルマの知識を「気持ち悪いくらい異常に持った師匠」(笑)。だから、わからないことがあればすぐ彼に聞きます。どこまでも細かく聞く！何度も聞く！そんな僕のしつこい質問にもいつでもいねいに答えてくれる師匠ですが、若かりし日は、どやんキーで通学していた埼玉自動車大学の成績は下から数えて3番目とかで、卒業できたのが学校の七不思議に数えられるんじゃないかっていうくらい。



らしい。クルマに超詳しい今のカズ君からはまったく想像できません。しかも、学校内のほとんどのクルマをカズ君が整備しているんです。いや、変わるもんですね。僕も人のことを言えたらんじゃないんですけど。(笑)。

熱く激しい魂を感じ
ラスベガスから直行

カズ君と知り合ったのは、もう10年くらい前のこと。初めて出会った



のは、それこそカズ君の母校である埼玉自動車大学の文化祭がきっかけ。文化祭にジャンクショッププロデュースを呼んでくれたんです。そのときたまたま、僕はアメリカラスベガスのSEMA SHOWに行っていたので行けなかったのですが、当時のウチのスタッフから、「とてもなく元気なショップの社長と知り合いになった」とメールが来たんです。そこで即返信。彼に「いつお会いしましょうか?と。すると、「いつでも」と返ってきたので、そういうことなら僕も思わず熱くなり、ラスベガスから大阪に帰らず、そのまま埼玉に直行了した記憶がある。

出会いはまさにデイスティニー！人生も熱く深く鮮やかなピンク色。

この埼玉自動車大学は、自動車整備士の資格取得はもちろん、カスタムボディ科、モータースポーツ科などいろいろ。従来の自動車専門学校とは違い、個性的な学科が多数あって選択肢が広い。生徒さんたちも明るくて元気がいい！この学校の文化祭に行くのが楽しみでした。文化祭以外にもカズ君とはあらゆる面で意気投合。当然、仕事の面でも助け合っています。特にジャンクショッププロデュースデスティニーブランドを気に入ってくれて、昔から製品面でもかなりアピールしてくれているんです。

あえてのヘリテイジ!!!
現代版JP仕様20系後期

そんな中で、今回ここで紹介するのは20系セルシオ後期。なんだかすごく懐かしい感じもして、心が躍りますね。

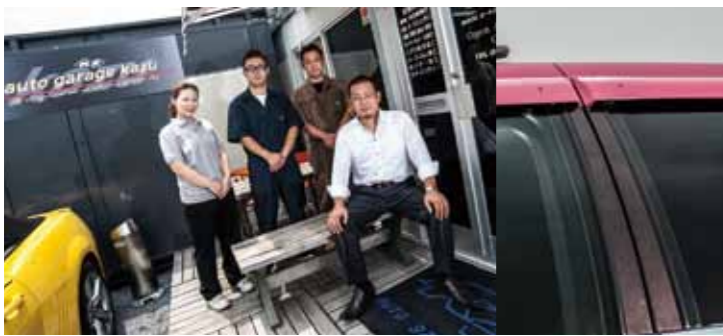


Text：秋元栄二郎 / Photo：編集部 / 撮影協力：埼玉自動車大学校 http://www.saijidai.ac.jp/

ジャンクショッププロデュースデスティニーのエアロをまとい、ボディカラーは210系クラウン純正モモタロウピンクに全塗装。ホイールも、ジャンクショッププロデュースのヘリテイジでまとめています。こうして見ると、旧車の領域に入っている20系選手の20系セルシオもまだまだ全然イケてますよね？

実は、20系セルシオはジャンクショッププロデュースデスティニーのデビュー作。しかも、20系セルシオ前期のデモカーは、当時カズ君に左ハンドル車を借りて作ったもの。なつかしい。当時はスクラを履いていましたが、今回はあえてヘリテイジ。昔を知る僕から見るとかなり新鮮です。

フェンダーにはサメエラダクト。このパーツはサメエラフェンダーと違って、ダクト部分のみで購入が可能です。だからダクトそのものが好みの場所に入れられるというわけです。



さらにカズ君の20系セルシオ後期は、グリルとフロントガラスまわりのモールをラップ塗装をしているので、黒っぽく見えるのが特長。ボディカラーのピンクも、モールの黒も、ただ単にピンクや黒にしているのではなく、ちゃんとこだわりを持った色というところが、僕は好きですね。この20系セルシオ後期、カズ君の遊びゴコロとクルマ好きという気持ち、絶妙にカタチになった一台。実はカズ君の愛車は、他にも20系セルシオ後期ジャンクショッププロデュースデスティニー仕様。現行アルファード。トラクター(笑)。とこれまた多数。Y31セドリックジャンクショッププロデュース仕様。これまたシブですが、それはまた別の機会に紹介させていただきます。(上野)